

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

改訂点

大項目	目標	取組内容	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組及び今後の改善策	学校関係者記入欄 コメント
学力向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。	4:「多摩川学習のめあてに向けて進んで学習できた。」とアンケートで回答した児童の割合が90%以上 かつ「子どもは、学年に応じた基礎的・基本的な学力が身につけている」と回答した保護者の割合が80%以上	←成果指標H29改訂 保護者の意識も成果指標に加えた		
		算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	3:「多摩川学習のめあてに向けて進んで学習できた。」とアンケートで回答した児童の割合が80%以上 かつ「子どもは、学年に応じた基礎的・基本的な学力が身につけている」と回答した保護者の割合が70%以上			
		学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。	2:「多摩川学習のめあてに向けて進んで学習できた。」とアンケートで回答した児童の割合が70%以上 かつ「子どもは、学年に応じた基礎的・基本的な学力が身につけている」と回答した保護者の割合が60%以上			
		外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とのコミュニケーション能力の育成等を図っている。	1:「多摩川学習のめあてに向けて進んで学習できた。」とアンケートで回答した児童の割合が70%未満 かつ「子どもは、学年に応じた基礎的・基本的な学力が身につけている」と回答した保護者の割合が60%未満			
		授業改善推進プランを、授業に生かす。				
		多摩川を活用した学習を継続的に実施し、学ぶ意欲を育てる。				
豊かな心を育む	子ども一人ひとりの健全な自己肯定感・自己決定力を高め、未来への希望に満ちた豊かな人間性を育みます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。	4:「いろいろな人とかかわることができた。」とアンケートで回答した児童の割合が90%以上 かつ「学校は子どもに『思いやり』『協力』など、豊かな心が育つ指導をしている」と回答した保護者の割合が80%以上	←成果指標H29改訂 保護者の意識も成果指標に加えた		
		道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。	3:「いろいろな人とかかわることができた。」とアンケートで回答した児童の割合が80%以上 かつ「学校は子どもに『思いやり』『協力』など、豊かな心が育つ指導をしている」と回答した保護者の割合が70%以上			
		学校生活調査(メンタルヘルステック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。	2:「いろいろな人とかかわることができた。」とアンケートで回答した児童の割合が70%以上 かつ「学校は子どもに『思いやり』『協力』など、豊かな心が育つ指導をしている」と回答した保護者の割合が60%以上			
		学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。	1:「いろいろな人とかかわることができた。」とアンケートで回答した児童の割合が70%未満 かつ「学校は子どもに『思いやり』『協力』など、豊かな心が育つ指導をしている」と回答した保護者の割合が60%未満			
		問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。				
		あいさつを習慣化する取り組みや日常の授業、学級・学年・たてわり班活動等を通して、よりよく人とかかわろうとする意識を育てる。				←取組内容・取組指標 H28改訂
体力向上	子ども一人ひとりの身体活動量を増加させて意欲や気力の元となる総合的な体力を育みます。	新体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実践する。	4: 自分は持久走大会に向けて努力をした」とアンケートで回答した児童の割合が90%以上	←成果指標 H28 %の数値を上げ		
		「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。	3: 自分は持久走大会に向けて努力をした」とアンケートで回答した児童の割合が80%以上			
		給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。	2: 自分は持久走大会に向けて努力をした」とアンケートで回答した児童の割合が70%以上			
		体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。	1: 自分は持久走大会に向けて努力をした」とアンケートで回答した児童の割合が70%未満			
		持久走大会に向け、計画的に指導を実施する。				
教育環境向上	教員の指導力向上、施設の整備や講師・支援員の配置などの学校サポート体制の充実に取り組み、学習環境の向上を図ります。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。	4:「授業は子どもたちに分かりやすい」とアンケートで回答した保護者の割合が90%以上			
		授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。	3:「授業は子どもたちに分かりやすい」とアンケートで回答した保護者の割合が80%以上			
		各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。	2:「授業は子どもたちに分かりやすい」とアンケートで回答した保護者の割合が70%以上			
		学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。	1:「授業は子どもたちに分かりやすい」とアンケートで回答した保護者の割合が70%未満			
		校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。				
		授業研究、OJT、参観授業等で指導案(略案・資料)を配布し、積極的に授業を公開し、授業力向上に努める。				
家庭・地域の教育力向上	学校・家庭・地域の果たすべき役割や責任を明らかにするとともに相互の連携を深め、地域とともに子どもを育てる仕組みをつくり出します。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。	4:「地域やPTAの活動や行事によく協力している」とアンケートで回答した保護者が90%以上			
		地域教育連絡協議会において、児童・生徒の変容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けよう努める。	3:「地域やPTAの活動や行事によく協力している」とアンケートで回答した保護者が80%以上			
		学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実践する。	2:「地域やPTAの活動や行事によく協力している」とアンケートで回答した保護者が70%以上			
		地域やPTA等が主催する行事に参加し、子供たちの活動を見守る。	1:「地域やPTAの活動や行事によく協力している」とアンケートで回答した保護者が70%未満			←取組内容・取組指標

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
 ○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
 ○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能であるの4点について、評価した人数を記載する。